

(2023. 6. 13 ホテル阪急インターナショナル)

上坂新会長の就任挨拶

この度、前田前会長の後を受け、会長という大役を仰せつかりました。

前田前会長におかれましては、8年の間に、人材部会・中小部会の設立をはじめ、入職促進、人材育成など、事業活動の強化・充実に、しっかりと踏み込んだ取り組みを、会員の皆さまとともに展開され、当協会の魅力向上に多大なる貢献をされました。

その後を引き継ぐことは、身に余る光栄であり、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

電設業界における今後の課題については、来年に迫った「時間外労働の規制強化」、そして「魅力ある産業として建設業が持続的に発展していくためには、どうあるべきか」という、乗り越えなければならない命題があります。

昨今の技術者、技能者の高齢化や入職者減少といった状況も踏まえ、未来を担う若い働き手にとって、「やりがい・働きがい」を感じ、「誇り」を持つことのできる職場環境の整備をしっかりと進めていくことが重要だと認識しています。

そして、こうした取り組みにより、将来にわたって「自ずと人が集まる」業界にしていくことが、もっとも大切なことであると思っております。

多くの諸先輩が築いてこられた歴史と伝統を引き継ぐとともに、協会に期待される社会的使命や役割を認識し、これら一つひとつの課題解決に向け、役員・会員の皆さまと一緒に力を合わせ、大阪の電設業界の発展に、取り組んで参りたいと思います。

最後になりますが、大阪電業協会の益々の発展と、本日ご臨席の皆さまのご健勝、ご多幸を祈念しまして、簡単粗辞ではありますが、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

以上